

2. 火山の概況

(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 4 月 7 日)

十勝岳で微動が発生した。

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル(以下レベル)は2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では噴気活動のやや活発な状態が続いた。

薩摩硫黄島では微動が発生した。



表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		十勝岳	吾妻山	三宅島	福徳岡ノ場	九重山	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号										
16	4/8- 4/14																				
15	4/1- 4/7																				
14	3/25- 3/31																				
13	3/18- 3/24																				
12	3/11- 3/17																				
11	3/ 4- 3/10																				

(: 気象庁職員が山頂付近で作業を行った際に、山頂付近に限定されるとされると思われる微弱な降灰を確認した。これまでも同様の現象はあったものと思われる。)

注1 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間まで や で掲載した火山の、その後の状況等
- : その他記事を掲載した火山
- 等の丸付き数字**: 火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

十勝岳 [微動] <期間外>

9日06時14分頃から振幅の小さな火山性微動が観測された(微動は2月25~26日以来)。微動は次第に振幅が小さくなり、約23分後にはほぼ収まった。微動の発生前後で火山性地震の増加は見られなかった。なお、62-2火口付近は雲に覆われていたため噴煙の状況は確認できなかった。

浅間山 [地震・微動・熱] レベル2 (やや活発な火山活動)

昨年6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、前期間まで次第に減少していたが、今期間は10~125回とやや増加した。振幅の小さい微動は4~6日に各2回、7日に3回の合計9回観測された(前期間は0回)。

赤外線カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、火口底に引き続き高温部が確認されたが、その範囲は次第に狭くなっている。

伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

三宅島 [噴煙・火山ガス・微動]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 1,000mであった。

1日に行った上空からの観測¹⁾では、火口から白色噴煙が連続的に噴出し、南西に流れていた。火口内の状況に大きな変化は見られなかった。赤外線カメラによる火口内の最高温度は 84 であった。また、火山ガスの観測では、二酸化硫黄の放出量は日量 6,500~8,800 トンであった。長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図2)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり 5~25 回と少ない状態で推移した。また、4日に連続微動の振幅が 10 数分間程度間欠的に増大する現象が見られたが、噴煙活動等、他の観測データに変化は見られなかった。

GPS による地殻変動観測では、昨年 6 月頃から始まった三宅島の収縮傾向が継続している。

1) 航空自衛隊の協力による

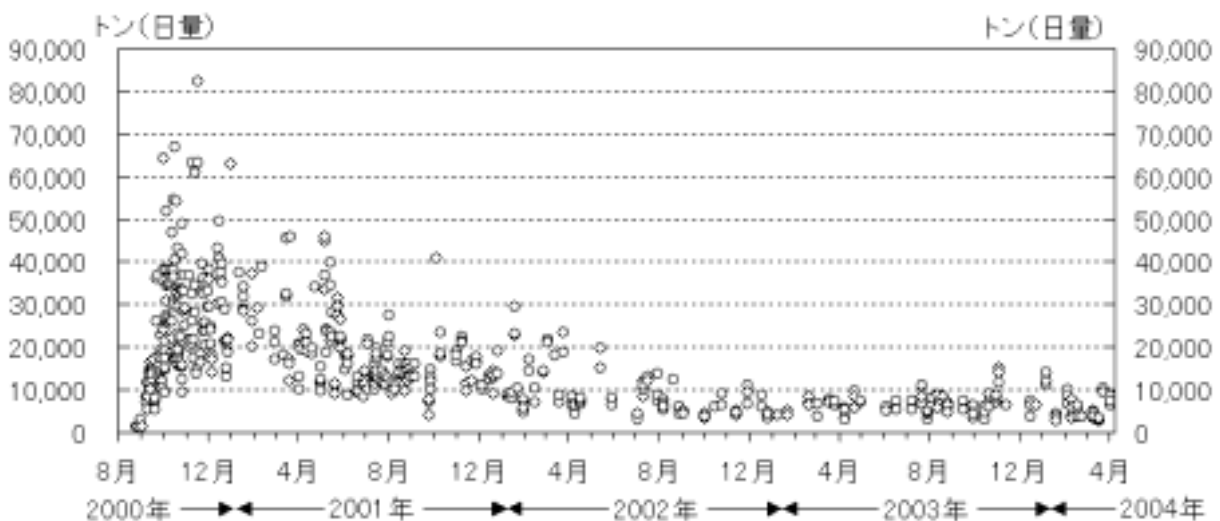


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移(2000年8月26日~2004年4月7日)

阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

6日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割(前期間も約3割)で、湯だまりの表面温度の最高は70(前期間72)、火口壁の最高温度は361(前期間356)と依然高温状態にあった。湯だまり中央部で約5mの土砂噴出がみられた他、湯だまり南西縁の噴気孔から勢いよく噴気を噴出していた。

3日及び4~7日に連続微動を観測した。また、孤立型微動は、1日あたりの回数が100回を上回る日はなく、今期間350回と前期間(490回)にくらべやや減少がみられたが、依然として多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上500m(前期間500m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

霧島山 [噴気]

4日、5日及び6日に御鉢で火口縁を越える噴気が観測され、その最高は火口縁上300mであった。火山性微動は観測されなかった。

桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった(前期間噴火2回、爆発はなし)。今期間の噴煙の最高高度は400m以上(乳白色)であった。鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で今期間降灰は観測されなかった(前期間はなし)。

薩摩硫黄島 [微動]

振幅の小さい連続微動が2日から7日まで続いた。

口永良部島

2月2日に多発して以降増減を繰り返している地震回数は、今期間も短時間に集中して発生することはなく、期間中の合計は7回と前期間(16回)に引き続き減少状態にあった。火山性微動はなかった(前期間9回)。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第180号 (1日2回発表)	1日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第193号	7日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第22号	2日 11:10	火山活動は引き続きやや活発(連続微動時々発生、小規模な土砂噴出多数発生、湯だまりの高温状態継続)。レベルは2。
霧島山	火山観測情報第19号	2日 15:10	御鉢のやや活発な噴気活動継続。
薩摩硫黄島	火山観測情報第3号	2日 13:00	やや活発な火山活動継続(集落で降灰を時々確認)。